

次世代医療物流の実現に向けた取り組みを本格始動
医療機器卸の株式会社竹山、独製最新ドローンを導入

～自社運航を目的とする本機の購入・本格導入は国内初～

北海道に根ざした総合ヘルスケア企業グループとして事業を展開する株式会社ほくやく・竹山ホールディングス（所在地：札幌市中央区、代表者：代表取締役社長 眞鍋雅信、以下「ほくたけ」）は、連結子会社で医療機器卸売事業を展開する株式会社竹山（所在地：札幌市中央区、代表者：代表取締役社長 土田拓也、以下「竹山」）が、ドイツWingcopter社製の最新型ドローン(W198)を自社購入し本格導入しましたので、お知らせいたします。

これは、2024年の実証実験において、ドローンによる医療機器輸送の有効性と将来性を確認したことを受けたものであり、この導入を契機に、医療機器の緊急輸送や遠隔地・離島への安定供給といった北海道が抱える医療課題に対し、ドローンによるソリューションの早期実現に向けた取り組みを本格始動いたします。

なお、W198の購入・本格導入は、自社運航を目的としたものとしては国内初となります。



導入したドローン（Wingcopter社 W198）

1 背景：北海道の地域医療が抱える課題とドローン輸送への期待

北海道は広大な面積と地形から、医療機器の緊急輸送や遠隔地・離島への安定供給に課題を抱えています。特に急性期医療では、迅速な搬送が患者の予後を左右します。また近年では、物流インフラや輸送人員の維持も課題となっています。

竹山は、ドローンがこれらの課題を解決する重要な輸送手段の一つとなると考え、2024年に室蘭～森町間での実証実験を、伊藤忠商事株式会社・一般社団法人ドローン大学校と共同で実施いたしました。実証実験では、陸路で2時間以上の距離を、内浦湾を空路で横断することで、最短約28分で輸送し、緊急時における大幅な時間短縮と安定した輸送が可能であることを確認いたしました。

今回の機体購入は、この実証実験においてドローンによる医療機器輸送の有効性と将来性を確認したことを受け、北海道が抱える医療課題の解決を目指して、W198の第一種型式認証取得後の速やかな運用開始を見据えたものです。

2 Wingcopter 社ドローン導入の意義

(1) 高速・長距離飛行可能なドローンで、医療機器の安定供給に貢献

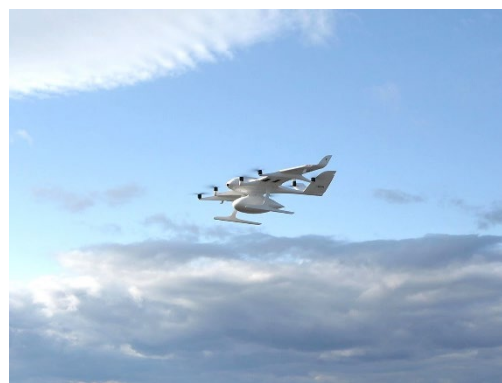
- ・今回導入する eVTOL 型ドローンは、飛行機のように翼の揚力を利用できるため燃費効率に優れ、高速・長距離の飛行が可能です。これにより、広大な北海道において、遠隔地や離島へ安定した医療機器輸送を実現いたします。

(2) 地域のニーズに応える新たな医療物流の開拓で、北海道の地域と人々へ貢献

- ・緊急時・災害時における離島や輸送困難地域への医療機器の安定供給を実現し、地域のレジリエンス強化と医療格差是正に貢献いたします。
- ・輸送時間の短縮により、特に急性期医療における救命率向上に貢献いたします。
- ・北海道の全ての人々が質の高い医療を受けられる社会を目指し、「北海道に生きてよかった」と実感できる地域づくりに貢献いたします。

3 直近の取り組みと今後の展望

2024年の実証実験以降、2025年6月には、竹山から道内医療機関への配送網構築のための協業を目的として、株式会社竹山・伊藤忠商事・ドローン大学校の3社で「北海道医療ドローン物流推進会」を立ち上げました。また2025年10月には、稚内～利尻～礼文ルートでのルート開設（テストフライト）を実施し、離島医療へのドローン活用に向けた準備を進めています。



2025年10月のルート開設(稚内)の様子

さらに、2026 年中には同ルートでの本格的な実証実験を予定しており、北海道が抱える医療課題の解決に向け、ドローンによるソリューションの早期実現に向けた取り組みを一層加速させてまいります。

4 関係者コメント

株式会社竹山 取締役執行役員営業本部長 石井和明 コメント

このたびの最新型ドローンの導入により、次世代医療物流の実現に向けた取り組みを大きく前進できることを、大変嬉しく思います。私たちはドローンによる医療物流の有効性と将来性を確信しており、北海道の医療課題の解決に向け、この取り組みを一層加速させてまいります。

伊藤忠商事株式会社 航空宇宙部部長代行 佐藤正治氏 コメント

このたび、竹山様により、W198 が国内で初めて購入・本格導入されたことは、当社として大変意義深く、心より敬意を表します。本機の導入を通じて、竹山様が取り組まれている北海道における無人航空機を活用した医療物流の実用化が着実に前進していくことを強く期待するとともに、当社としてもその発展に貢献してまいりたいと考えております。

一般社団法人ドローン大学校 代表理事 名倉真悟氏 コメント

この度、株式会社竹山様が Wingcopter 社 W198 を導入し、次世代医療物流の社会実装に向けた一歩を踏み出されたことを、パートナーとして大変心強く感じております。弊校は、2024 年の室蘭～森町間での実証実験より、運航の安全性確保や技術的なサポートを通じて本プロジェクトに携わってまいりました。今後も本プロジェクトでの活動を通じ、安全な運航体制の構築に寄与するとともに、ドローンテクノロジーを駆使して地域医療の課題解決に貢献できるよう全力で取り組んでまいります。

株式会社ほくやく・竹山ホールディングスについて

ほくやく・竹山ホールディングスは、北海道に根ざした総合ヘルスケア企業グループとして、医薬品卸売事業、医療機器卸売事業、薬局事業、介護事業、ICT 事業の 5 つの事業を主に運営しています。わたしたちは「予防・診断・治療・調剤・リハビリ・介護」という地域における健康ネットワーク全体の円滑な活動を支えることにより、健康を願うすべての人々を支えつづけます。

株式会社竹山について

竹山は、「私たちは『医療活動に対する支援を通じて、人々の健康な暮らしを守り、社会の健全な発展に貢献』します」の企業理念のもと、ほくやく・竹山ホールディングスの医療機器卸売事業を担う企業として、今後も医療の現場を支えてまいります。

ほくたけグループは、北海道に根ざした総合ヘルスケア企業グループとして、お客様、患者様、みなさまが「北海道に生きてよかった」と心から感じられる未来の実現に向けて、これからも努力を続けてまいります。

以上

【参考情報】

1 ドローンの輸送対象となる医療機器の例

- ・ 緊急性が高い医療機器
例1) 急性期脳梗塞血栓回収に用いるカテーテル（発症から治療までの時間が短いほど予後の改善が見込まれる）
例2) 敗血症治療に用いる血液浄化用医療機器（治療までの時間が短いほど予後の改善が見込まれる）
- ・ その他、離島・遠隔地・災害地等への迅速な輸送が求められる医療機器

2 導入ドローンの主な仕様

製造会社	ドイツ Wingcopter 社
モデル	W198
最大積載量	最大 4.5kg
耐風性	平均 15m/s 突風時 20m/s
巡行速度(標準)	90km/h
最大飛行距離	110km
本体 L x W x H	167cm x 198cm x 66cm
本体重量	24.9kg

本件に関するお問合せは以下までお願いいたします
株式会社ほくやく・竹山ホールディングス 企画広報部
TEL：011-611-1010 E-mail：pr@hokutakehd.jp

